

平成25年度公益財団法人津南町農業公社の事業報告について

1 事業概要

担い手育成事業については、4名の就農希望者を研修生として受け入れ、地域の担い手になるよう、実地研修を実施してきたが、今年度で終了した。

平成26年より経営開始となるが、引き続き農地斡旋等支援を行っていく必要がある。

農作業支援事業は、地域農業の作業労力の補完のため、水田への堆肥散布等の農作業支援を行ってきた。

農地への堆肥投入が、異常気象に対応する有効な手段であることから作業依頼が増えている状況にある。

農地保全事業は、保全管理地29.1haのうち12.0haにおいて球根養成、加工トマト、アスパラガス、人参(加工用、雪下)、馬鈴薯、生鮮トマト、里芋の作付けを行った。

特に馬鈴薯や生鮮トマトの栽培は安定した所得が期待できる新規作物として実証的に栽培を行ってきた。

農地利用集積円滑化事業においては、賃貸借契約が満了を迎えた農地について、農地の効率的利用を図りながら、更新手続きを進め、担い手農家の経営規模拡大を支援してきた。

2 事業実績

事業名	概要
担い手育成事業	4名受け入れ(小杉、百崎、佐藤、飯吉)
農作業支援事業	水田堆肥散布 36.1ha 畑作堆肥散布 4.5ha 農業者機械利用 (ホイルローダー、マニア等)8件
農地保全事業	<p>作付面積の内訳(前年度実績からの増減)</p> <ul style="list-style-type: none"> 球根養成 1.34ha (-) 加工トマト 3.47ha (0.19ha 増) 生鮮トマト 6a (-) 春人参 1.0ha (-) 加工人参 1.70ha (0.05ha 減) 雪室人参 0ha (H24 で終了) アスパラガス 3.2ha (-) 馬鈴薯 0.80ha (0.13ha 増) 里芋 0.4ha (0.1ha 増) 加工ごぼう 0ha (H24 で終了)
農地利用集積円滑化事業	<p>現在の事業実施状況(内面積で表示)</p> <ul style="list-style-type: none"> 公社受入面積 162.2ha(151.6) 公社貸し付け面積 133.1ha(123.4) H25 実績 6.9ha 増 47戸 公社保全管理面積 29.1ha(28.2)